

# 日本マクロエンジニアリング学会 シンポジウム 2016

地政学的リスクや欧州の経済情勢が予断を許さない中、安倍政権の下、成長戦略が進められています。日本学術会議登録学会（文部科学省学会番号 11151）である日本マクロエンジニアリング学会による本シンポジウムでは「海洋深層水活用による地方創生」をテーマとして持続可能性の向上に貢献する環境や地域振興に関する研究活動を促進し、国家的・世界的規模での持続可能性改善ビジョンと南房総のランドデザインを描くことを目指します。

**日 時** 2016年11月5日(土) 13:30~16:30

**場 所** 館山商工会議所 千葉県館山市八幡 821 TEL:0470-22-8330  
アクセス [http://tateyamacity.or.jp/?page\\_id=85](http://tateyamacity.or.jp/?page_id=85)

**参加費** 無料

**プログラム** テーマ:「海洋深層水活用による地方創生」

受付 13:00 開始

開会挨拶 13:30~13:35 茂木 創 理事長(拓殖大学)

後援挨拶 13:35~13:40 杉井 繁樹 館山商工会議所会頭他

講演1 13:40~14:05 西村 健 NPO日本公共利益利益研究所 代表  
館山市の地方創生と将来展望 (内閣府地方創生人材支援制度派遣 小山町アドバイザー)

質疑応答 14:05~14:10

講演2 14:10~14:35 高橋 正征 海洋深層水利用学会会長  
海洋深層水の活用と地域振興 名誉教授(東京大学, 高知大学)

質疑応答 14:35~14:40

講演3 14:40~15:05 迹目 英正 株式会社 デザインウォーター  
改良 OTEC(海洋温度差発電)の実証と展開(規模、工程など)について

質疑応答 15:05~15:10

座談会 15:10~16:20 講演者及び会場の皆様

閉会挨拶 16:20~16:30 吉野 文雄 会長(拓殖大学)

主催: 日本マクロエンジニアリング学会 (JAMES)

共催: NPO 法人マクロエンジニアリング研究機構 (RIMEP)

協賛: 株式会社 デザインウォーター

後援: 館山市、館山商工会議所、西岬漁業協同組合

日本マクロエンジニアリング学会事務局

〒112-8585 東京都文京区小日向 3-4-14 拓殖大学政経学部 茂木研究室  
電話/FAX 03-3947-9204 Eメール <hmotegi@ner.takushoku-u.ac.jp>  
UEL <http://www.soc.nii.ac.jp/james2/>



<沿革>

日本マクロエンジニアリング学会は、元外務大臣の大来佐武郎氏、OECD 科学技術政策委員会議長(当時)の大島恵一氏、元東京大学総長茅誠司氏、日本学術会議会長(当時)の伏見康治氏、日本学士院(当時)の和達清夫氏らの肝煎りで、1985年に創設された学術団体です。